

福祉サービス第三者評価受審施設アンケート結果  
(令和5年4月実施)

1 アンケート実施概要

(1) 実施時期

令和5年4月

(2) アンケート対象

- ・ 前回アンケートを実施した令和4年4月以降に第三者評価の受審を終えた施設
- ・ 対象施設数 16施設

(3) アンケート回答

- ・ 対象の16施設のうち12施設が回答。回答率75%。

〔 回答した12施設のうち、有効回答は12件。うち2施設が一部無回答。 〕

事業別の回答数は以下のとおり。【 】内はアンケート対象施設数

社会的養護関係施設【1】		
乳児院		【1】
		1
回答数合計		1
社会的養護関係施設以外【15】		
障害福祉サービス事業所	保育所	地域型保育事業
【3】	【10】	【2】
3	6	2
回答数合計		11

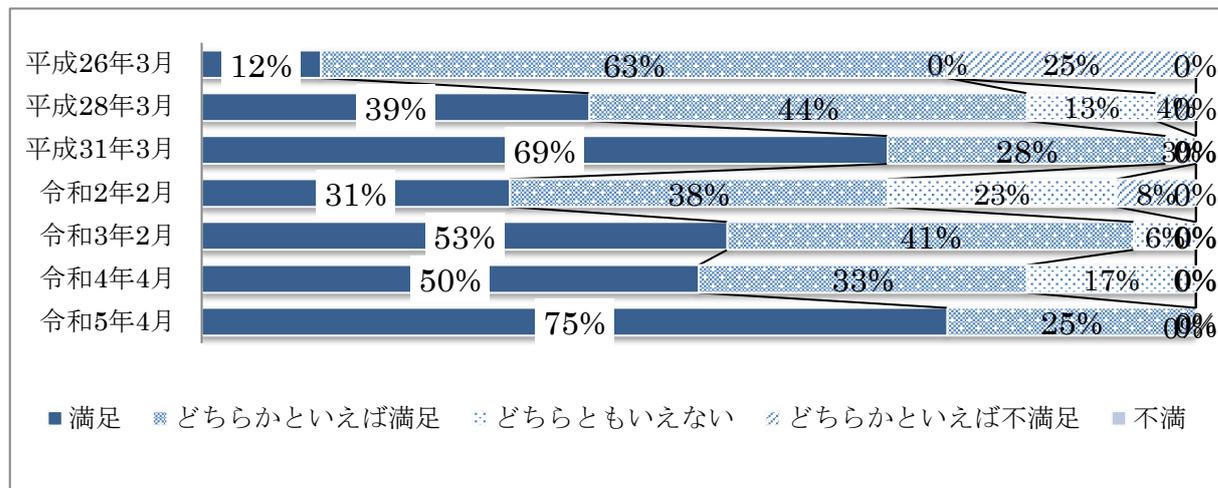
(4) これまでのアンケート実施概要

No.	実施時期	対象施設数	アンケート回答	回答率
1	平成26年3月	9施設	8施設	89%
2	平成28年3月	24施設	23施設	96%
3	平成31年2月	57施設	30施設	53%
4	令和2年2月	15施設	13施設	87%
5	令和3年2月	18施設	17施設	94%
6	令和4年4月	18施設	18施設	100%

## 2 アンケート結果概要

### (1) 第三者評価の受審全体の満足度

・前回調査より、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した施設の割合が増加した。



※施設種別ごとの満足度（令和5年4月アンケート結果）

	満足	どちらかとい えば満足	どちらともい えない	どちらかとい えば不満	不満
乳児院	1	0	0	0	0
障害福祉サービス事業所	3	0	0	0	0
保育所	3	3	0	0	0
地域型保育事業	2	0	0	0	0

### (2) 受審して良かったと思う点

- 調査を通じて、施設の持っている課題や強みを確認できる良い機会と捉えています。また、施設の第三者評価員とも受審結果を共有し、利用者支援の質の向上につなげていきたいと考えています。
- とても丁寧な説明で、こちらも勉強になりました。
- 施設の良い点、または悪いところを確認し、次にかすことができる。また、わからないところを考えていただくことができる。
- 施設の運営や保育の状況を客観的な視点で見直し、現在の施設運営に不足している部分が明らかになり、職員が努力している部分がしっかり評価として現れたこと。
- 職員の意識が変わった
- 施設内では気づきにくいことや、どう改善していけばよいのかを、具体的な話しが聞けたことが良かった。
- 理念や基本方針、事業内容、自己評価の取り組み等、説明したり、実践してはいるが、職員の理解や落とし込みまで徹底されていないことに気づき、意識していこうと思えたこと。

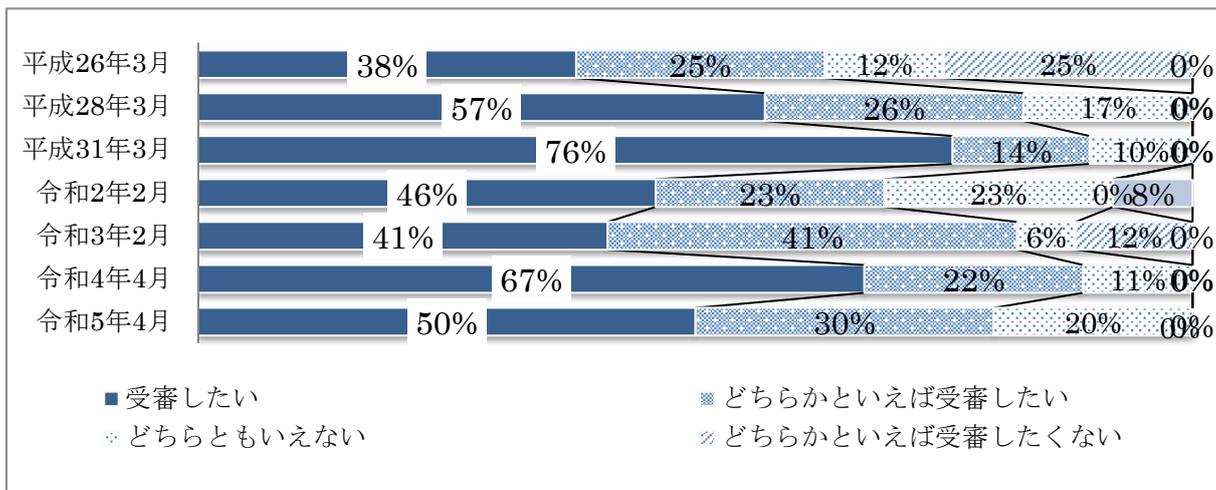
- 利用者支援に関わる支援指針についての見直しができる。一般的に求められている方向性を知ることができ、今の支援のあり方と、すり合わせができた。マニュアルの見直し、使いやすさの追求、職員の意向調査も含め、管理者の立場で、課題を見つけることができた。職場全体で課題を共有することができた。
- 自分たちでは気付かない、気付けていない部分をご指導いただけたり、取り組んでいた部分を、評価していただけたことで、施設全体の自信にもつながりますし、今後の施設運営の参考になるので、受審できたことは、良かったと思います。
- 施設運営で改善すべき点、取り組むべき点が明確になり良かった。
- 保護者、職員の声を聞くことができ良かった
- 以前お世話になった会社の方で、お互い知っているのでやりやすくスムーズにできた。保護者アンケートも用紙配布だけになり助かった。
- 自己分析が出来た。

### (3) 苦勞した点・改善を望む点

- パート職員でも、時間が短い職員に内容を理解して頂くのは大変だと思う。
- 事業所内保育所は、設置者の意向もあり、地域交流や地域貢献の部分など認可保育施設基準で評価されると低くなる。このようなケースがあることをご理解いただきたいと思います。
- 時間がない中でも全ての質問事項全てに答えるのが大変でした。
- 評価の内容が分かりにくく、評価しにくい部分がありました。
- 初めということで、求められている内容の書類を事前に揃えられなかった。又、事業計画書のイメージが湧かず、説明していただき理解できました。勉強になりました。
- 取り組んでいるが、果たしてできているのだろうか・・・等、葛藤していた。事業所の透明性等で、事業方針の家族周知等について、HPにだけ頼るのではなく、表現や文言をわかりやすく変え、通信文書を通して周知することができる等、考え方を利用者目線に置き換える導き方を示して頂き、納得することが多かった。受審についての改善点は、特には無い。
- 人員不足の中で、職員が回答する時間を設けることができず、一部の職員しか対応できなかった。限られた日数、時間の中で、やりくりするのに少々苦勞した。
- 提出書類・アンケート回答が多く大変だった。訪問に1日かかり聞き取りが集中してできない。

(4) 今後の受審希望

・前回調査より、「受審したい」「どちらかといえば受審したい」と回答した施設を合わせた割合が減少した。



宮城県 社会福祉課 団体指導班 宛て

<添書は不要です。>

FAX：022-211-2594 E-mail：syahukd@pref.miyagi.lg.jp

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1 宮城県社会福祉課

## 福祉サービス第三者評価受審施設・事業所アンケート

宮城県では、福祉サービスの質の向上及び福祉サービス利用者の選択に資する情報提供の充実を目的として、福祉サービス第三者評価受審率の向上に取り組んでいます。

つきましては、本事業の普及啓発と受審促進に活用するため、福祉サービス第三者評価を受審いただいた施設・事業所の皆様を対象としたアンケートを実施いたしますので、御協力くださるようお願いいたします。なお、回答内容については、施設・事業所名を伏せて集計し、普及啓発等に活用させていただきますので、御了承願います。

御記入者

施設・事業所名	
記入者 職氏名	
連絡先(電話番号)	

問1 第三者評価を受審しての満足度を選んでください。

1 満足・2 どちらかといえば満足・3 どちらともいえない	番号
4 どちらかといえば不満・5 不満	
※当てはまる番号を御記載ください→	

問2 第三者評価を受審して良かった点をお書きください。

--

問3 第三者評価を受審して苦勞した点や改善を望む点をお書きください。

※ex) 評価基準の内容が分かりにくかった・・・具体的にどの項目が分かりにくかったかを記入願います。

--

問4 今後も第三者評価を受審したいと思うかお書きください。

1 受審したい・2どちらかといえば受審したい 3どちらともいえない 4どちらかといえば受審したくない・5受審したくない ※当てはまる番号を御記載ください→	番号
【その理由】	

問4-2 これまでに第三者評価を複数回受審いただいた施設・事業所にお尋ねします。  
再受審を決めた理由をお書きください。 ※社会的養護施設を除きます。

--

問5 その他第三者評価を受審して感じたことや要望，御意見等がありましたらお書きください。

--

問6 第三者評価の受審を検討している施設・事業所に対し，受審を勧めるポイント（受審によって得られた点，貴施設・事業所内での良い変化や改善が図られた点など）がありましたらお書きください（前段の回答と重複した内容でも結構です。）。

--

御協力いただき、ありがとうございました。